

帰国報告書

札幌校 言語・社会教育専攻(英語教育分野)2年 川村彩歌

留学先：イギリス ロンドン大学アジア・アフリカ学院(SOAS)

留学期間：平成29年9月1日～平成30年3月31日

半年間の留学を終えて

【留学経験から得たもの】

一般的に留学で得るものといえば、主に語学力の向上でしょう。今回半年間のイギリス留学で、私自身も少しの英語力の向上に加え、その他にも多く得たものはあります。

しかし、私は何よりも一番に、“勉強への意欲”を得ることができました。”勉強への意欲”という言い方をしていますが、マイナスに言えば、自分の”勉強・知識不足さ”を半年間で痛感させられました。英語力はもちろんのこと、一般常識、世界情勢、自国への知識が圧倒的にないことに気づきました。クラスメイトは世界各地から集まっており、授業内においても各国での違いを聞かれることがありましたが、その場面においても、自らの知識不足のため十分に伝えることができないことが多々ありました。正直、なぜもっと勉強してこなかったのかと、とても後悔しています。こういった知識は、社会にでてからも様々な場面で使われます。会社はもちろんのこと、私が目指している教師という職業では重要であると思います。自分の持っている知識を生徒へ伝えることで、生徒の興味・将来の可能性までもを広げることができます。



(図1 Term1 終わりの学内パーティにて)



今の自分は、先生を含め社会に出る人間として、知っていなければいけないことばかり知らない状態であり、英語以前に勉強すべきことがたくさんあることに気づかされました。この体験を生かし、残された学生生活の中で、英語や教育の専門的知識に加え、その他の幅広い知識などの学習へ力を注ぎたいです。

(図2 Term2 終わりの学内パーティにて)

【これから留学する学生へ伝えたいこと】

留学を目指しているみなさんへ、伝えたいことは三つあります。それは、自分が本当に行きたいところへ留学をすること、お金がないからといって諦めないこと、そして、英語だけではなく幅広い知識を勉強してから留学へ行くことです。

私は大学二年生の後期からの半年間に交換留学性として留学をしましたが、この期間に交換留学留学をしたい場合、一年生の夏休みごろに協定校の中から行きたいところを選び、秋から冬にかけてまでに、基準である語学スコアを目指し受験しなければなりません。正直言って、十分に考える時間も語学をスコアをとるために勉強をする時間も足りませんでした。そして、恥ずかしい話ですが、”行きたいところ”ではなく”行けるところ”を選んでしまいました。その結果、留学期間に学びたかったことややりたかったことに少しズレを生むことになりました。半年間という期間や留学にかかる費用などことを思えば、もっと慎重に考え本来自分がやりたいことがある行先を選ぶべきだと思います。つまり、留学をしたいと思う方は行く前の準備を疎かにしないでください。協定校のホームページを見て留学生はどんな授業がうけられるのか、どの程度お金がかかるのか、語学スコアはどのくらいとればいいのかなど、自分で調べることもできますし、国際課や先輩の体験談を見るなどいろんな手段があります。また、留学の種類もたくさんあるので、自分に合った期間や方法を探すことをお勧めします。本気で留学へ行きたい方は、どうか”行けるところ”ではなく”行きたいところ”へ行けるようぜひ準備をしてください。



(図 3 学内にあるモニュメント)

二つ目に、留学には多額の費用がかかります。私の家庭は、余裕で留学へ行ける状況ではありませんでしたが、自分でアルバイトしてためたりするのはもちろんのこと、奨学金をもらったりと大学や他の機関から援助されることで留学が実現できました。さらに、留学する短期、長期、交換留学など様々あるので、両親や大学の事務の方と相談することで、自分に状況に合った留学方法が見つかると思います。そして、

ある程度お金に余裕がなくても留学期間まで自分で貯金をしたり、奨学金をもらえるよう調べたり努力はすることができるので、どうかお金に余裕がないから留学に行けないとあきらめないでください。

三つ目に、【留学経験から得たもの】でも書きましたが、英語の勉強だけでなく、その他の一般常識や世界情勢などに目を向け、幅広い知識をつけてから留学に臨んでください。それが、留学先での自信になってり、英語力向上に強く関係してくると思います。

最後に、あくまでもこの三つは私の個人的な意見ですが、これらをやっておけば損はないと思います。得るかどうかは努力次第だったり、個人差があったりと様々ではあると思いますが、留学したい方で、まず何をしたらいいか困ったり悩んでいる人は三つのことを考えたりやってみてはいかがでしょうか。留学を目指されている方の成功をお祈りしています。